

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 22日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様に楽しんでもらえている。	決まったプログラムではなく、まずは利用者様が楽しいと言ってもらえる活動を行っております。	利用者様のみならず保護者様も支援に参加していただくなど、保護者様にも楽しいと感じてもらえる機会を今後つくってまいります。
2	利用者様の状況を常に把握し、常に寄り添った支援を提供している。	利用者様にとって今何が課題なのかをしっかりと分析しております。また職員1人のみの視点だけではなく、様々な職員の視点から分析し本当に利用者様に寄り添った支援提供を行っております。	集団活動をもっと取り入れ、個別のみの対応だけではなく複数での活動をもっと取り入れ支援のバリエーションを増やしていきたいです。
3	利用者様や保護者様が悩み等を気軽に伝える事が出来る。	保護者様が気軽に悩みをお伝えできる環境設定を行っております。利用者様においてもしっかりと関係づくりを行い、困っている事や悩んでいる事をしっかりと聞ける様に行っております。	まだまだお話しできる時間が少ない事もあるので、しっかりと話を聞ける時間をもっと確保したいと思っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流が少ない。	利用者様によっては自力で通所される方も多く、保護者様の来校頻度が少なかったりなどあります。	事業所側から保護者会など企画する必要があります。また来校頻度が少ない保護者様に対して、もっとこまめに連絡を取らせて頂く必要があります。
2	集団での活動が少ない。	個別療育で事足りるプログラムが多く、集団での活動が少なくなっております。	集団での活動を増やしていきます。以前行っていたクッキングや制作のイベント等を再度企画し実行できる様にしていきます。
3	保護者支援の弱さ。	保護者様に対してペアレントトレーニングができる体制が整っていない状態です。	もっと職員1人1人の知識の向上を図り出来る体制づくりを行います。また保護者支援に対しての研修も実施する必要があります。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校
------	-----------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 8名

回収数 7名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0	いつも複数名スタッフが常駐しており、良いと思う。	基本的には利用者様と職員の1対1の個別療育とさせて頂いておりますが、プログラムに応じて複数の職員が参加する事も行っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	2	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	0	2	以前少しあったが最近（この1年間）はない。	今後増やしていける様にいたします。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1	2		ごちらの方も実施できる様にいたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2	0	0	支援計画についての面談はあるがそれ以外の機会はない。	フィードバック時等にもっとお伝えできる様にいたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	0	3		保護者会等もっと増やせる様にいたします。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	4		月に2回のブログや福山3校舎にて通信を発行しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	支援内容などは満足していますが、時間ももう少し長いとありがたい。	基本的には1時間個別療育をさせて頂いていますがイベント等で1時間以上のイベントが実施できる様にいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1対1の個別療育が出来る体制にしています。また校舎スペースを考え、小集団イベントでも最大利用者を5名程度に区切り1人の職員が1人の利用者につける様に行っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	1と同上	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	事業所内の段差をなくしており利用者様が安心して療育を受けられる環境設定を行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	3と同上	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	3と同上	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	担当指導員のみならず、全職員に利用者様の現状を把握できる様情報共有を行う様に行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年欠かさずに公表を行っております。また頂いた意見は株式会社クラ・ゼミとして共有し、改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6と同上	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	第三者の外部評価ではありませんが、福山地域3校舎が互いにチェック評価を行っております。また会社内部評価の元、健全な運営を行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	月に1回の地域研修、職員の入社年数に応じた研修を行っております。また発達支援研究所にも研修を依頼し専門的な発達に関する研修も行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	保護者様の要望や利用者様の現状としっかり向き合ったプログラムの作成を行っております。また担当職員のみではなく様々な職員も意見を出し合い作成しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	1 1と同上	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	1 1と同上	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画に基づいた支援を行っております。また半年ごとの個別支援計画の見直しはもちろんですが必要に応じて個別支援計画の見直しも行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	初回面談時の受付シートで行っております。また年度が変わった際には再度最新のアセスメントシートを使用し日々の利用者様の変化等にも気を配らせて頂いております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	1 1と同上	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	1 1と同上	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	日々、職員同士でどの様な事をしたのか共有しあい、プログラムの固定化を避けております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	基本的には利用者様と職員の1対1の個別療育となっておりますが必要に応じて、複数の利用者様で活動を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	次回担当が変わる際などは引継ぎを通して利用者様の状態等を共有しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	20と同上	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	個別支援計画に基づいた支援を行いその記録をとっています。また株式会社クラ・ゼミとして内部監査を毎年行い、セルフチェックをしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	14と同上	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者、児発管のみならず担当する事が多い職員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	関係機関の連携など積極的に進めようとしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		まだまだ園連携等少ないので今後増やしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		就学時の移行時についてはまだまだ連携等が少ない状態です。今後増やしていける様にいたします。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	25と同上	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		交流等は無く今後増やしていきたいと思えます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回支援後のフィードバックにて利用者様の様子やどうすれば出来なかった事が出来やすくなったなどお伝えさせて頂いております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	毎回支援後のフィードバックにてどういった対応をすればよいのかの共有をさせて頂いております。	研修等は行っておりませんのでこちらの方も増やしていける様にしていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時にさせて頂きますが変更等があった場合はその都度説明の方を行っております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	計画作成時、変更時には保護者様と面談をし保護者様の要望や利用者様の状況を見て計画作成にあたっています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	必ず保護者様に確認して頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じてご対応の方をさせて頂いております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	兄弟同士の関わりについて基本的には個別療育なので兄弟間で関わる事は少ないですが必要に応じて対応の方はさせて頂いております。	保護者会の開催等が出来ておりませんので今後積極的にしていきたいと思っております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	38と同上	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月2回のブログでの発信や福山地区3校舎での通信も発行しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫にて管理しております。またブログをアップする際も保護者様の同意なく、利用様だと断定出来る情報配信はしておりません。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	個人に合わせたご対応をさせて頂いております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域住民を招待する機会はなかったのですがこちらの方も増やせる様にしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	月に1度の防災訓練を実施しております。また研修等で対処法などの周知を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	45と同上	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	初回面談時には必ず確認をしております。また日々の支援のフィードバックにて保護者様に確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	初回面談時に必ず確認を行っております。またクッキング等行う際は参加される利用者様にその都度確認を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	まず利用者様の安全を第一に支援の方をさせて頂いております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	マニュアルの設置等や緊急の避難先の周知等行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	福山地区のみならず、様々な地域の情報を共有できる体制を整えております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修や職員のストレスチェック等行い、虐待が絶対に起こらない環境を整えております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	52と同上		